

災害支援・教育復興にむけて



日教組災害対策本部

〒101-0003

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

HP:<http://www.jtu-net.or.jp/>

## 第14次連合ボランティア 報告

日教組 教育文化局長 岡島 真砂樹

<日教組参加者> 計17人（北海道～沖縄まで）  
※岩手県・高教組からの当日ボランティアもあり

<活動場所・内容> 大船渡での活動（10:00～15:00）  
○コーポ・個人宅の側壁撤去、洗浄作業  
○側溝清掃作業  
○米等の支援物資運搬 等

### <活動日誌>

活動日	活動内容	活動記録
7.11 (月)	【日教組1～3班】 コーポ3階の側壁撤去作業	*アパトー一室の下駄箱に履物がそのまま残っており、その中に小さな子どもの靴もある。この子はどうなったのか気にかかり、管理人さんに尋ねたところ無事だったとのこと・・・胸をなでおろす。  *30分ごとに15分の休憩をとり作業をすすめたこともあり、けがや体調不良を訴える人もなく、第1日目の作業を無事終えた。
7.12 (火)	【日教組1～3班】 コーポ3階の側壁撤去作業 洗浄機による洗い出し作業	*昨日に引き続き行った側壁撤去作業は午前中で終了し、午後からは部屋の洗浄作業。ボランティアセンターの洗浄機(2機)のうち1機が使えず、時間的ロスがあったものの、全員の協力のもとに作業をすすめ、コーポ3階の洗浄作業がすべて終了した。
7.13 (水)	1班：側溝清掃作業 2班：個人宅側壁洗浄 床下清掃作業 3班：個人宅側壁撤去作業	*1班は炎天下での「三陸精工」の側溝清掃作業であったが、海からの風があった。こまめに休憩をとりながら作業をすすめたこともあり、全員元気に無事作業を終えた。  *午前中の作業終了後、にわか雨が降り、自分たちが清掃した側溝に水が流れ、歓喜の声が上がり充実感を味わうことができた。

<p>7.14 (木)</p>	<p>1班：側溝清掃作業 2班：米等支援物資運搬 3班：側溝清掃作業</p>	<p>*1班は昨日に引き続き、「三陸精工」の側溝清掃作業。精力的に作業をすすめ、すべての側溝を開け、すべての作業を終了した。</p> <p>*お昼には、「三陸精工」の社長さんから感謝の言葉とともに、もてなしをうけ、皆さん満足感を味わうことができた。そして、「何年か何十年かしたら、是非この地に来て、大船渡の復興を見ていただくとともに、この側溝は自分が開けたものだと実感してほしい」と声をかけられた。</p>
<p>7.15 (金)</p>	<p>1班：コーポ清掃作業 2・3班：側溝清掃作業</p>	<p>*最終日、1・2・3班とも14時を目途に無事作業を終えた。五日間のボランティア活動で怪我や体調をこわす人もなく、作業や人との交流を通して各々の充実感につながり、大変よい体験となった。</p> <p>*いつもより30分程早く作業を終え、陸前高田をバスで回ってもらった。大船渡も悲惨な状況ではあったが、陸前高田は町全体が消滅し、がれき等が各所にうず高く詰まれている、見る影もない状況だった。参加者もここで起きたことに思いをはせ、言葉がなかった。</p>

\*折り紙で作った「帆立貝」に、一人ひとりが復興への思いを綴り、最終日に日教組を含めた40人あまりのボランティア参加者のメッセージとして大船渡のボランティアセンターに届けた。「帆立貝」は千羽鶴のようにつなげ、復興に多くの人に関わってくれた証として、ボランティアセンターにつるされるとのこと。

以上、報告まで



【第14次ボランティアメンバー】



【洗浄機による洗い出し作業】